

TOSHIBA

マイクロ波濃度計LQ600

トピックス



スラッジ水用マイクロ波濃度計LQ600

スラッジ水を有効に再利用するシステムを東芝の濃度計が確立します。

戻りコン 100m³/月のうち50%を再利用した場合

(スラッジケーキ処理費用 8,700円/m³:注1)

わずか1年間で、処理費用5,200千円がセーブできます。

スラッジ水の特長

- ・ 分離 - 濃度管内不均一
- ・ 凝結 - 可動部、突起部不可
- ・ 付着 - 光透過性変化
- ・ 気泡 - 測定誤差増加

スラッジ水再利用の条件

- ・ 練混ぜ3%以内保証
- ・ 連続測定
- ・ ユーザの理解

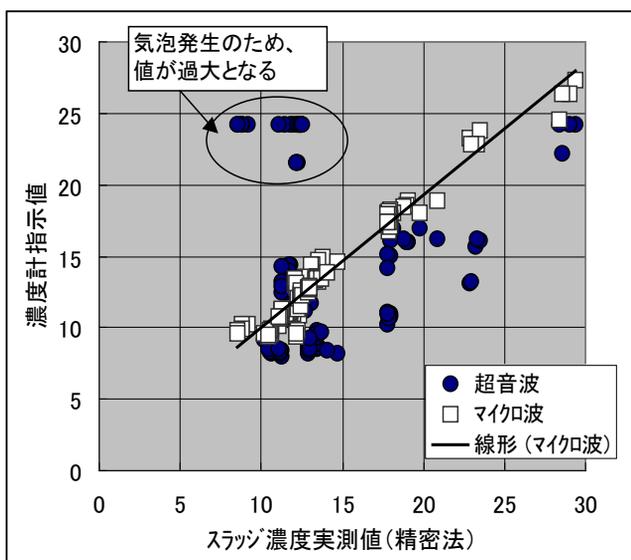
高精度な濃度測定を誇るマイクロ波濃度計が
困難とされていたスラッジ水の再利用を可能にします。

連続測定誤差

0.5%以内*3

全生工組連関東一区*2

で実証!



注1: 首都圏近郊での平均的処理費用

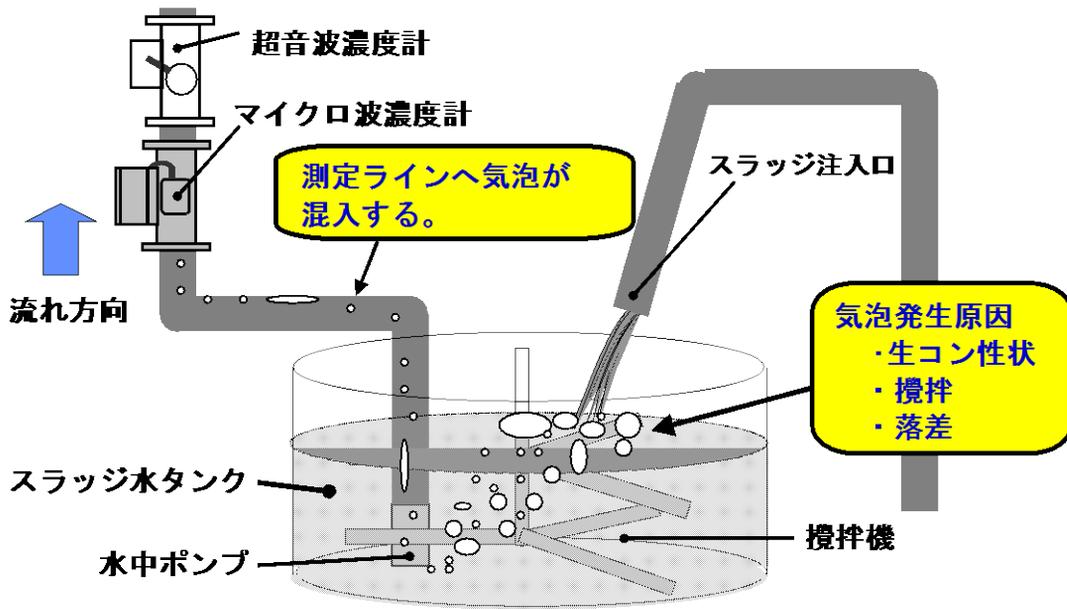
注2: 全国生コンクリート工業組合連合会関東一区地区本部

<http://www.tokyo-kouso.or.jp/>にて詳細が紹介されています。

注3: 上記ホームページで紹介されている試験結果の値です。

マイクロ波濃度計LQ600

□生コンスラッジ濃度測定例



特長

1. 高精度(繰り返し性や分解能が高い)
: 手分析の回数を削減(最終的には不要)
2. パイプ内に可動物や突起物がない
: 信頼性、メンテナンス性が高い
3. インラインで連続測定可能
: 常時監視ができる
: 試薬、測定サンプルが不要
4. 幅広いスラッジ水濃度測定
: 低濃度(0%)から高濃度(30%以上)まで
5. 流速の影響なし 直管長不要
: 配管スペースの効率化
6. 気泡の影響・汚れの付着の影響を受けにくい
: メンテナンスが容易
7. 「微弱電波機器性能証明書」取得済み
: 使用許可手続き等不要
9. 外部入出力信号
: 既設システムへのデータ出力が容易

製品仕様

- ・電源: 100-240Vac、50/60Hz
- ・消費電力: 約35VA
- ・口径: 80mm
(他サイズもありますが、スラッジ向けには80mmを推奨します)
- ・濃度測定値出力: 4-20mADC
(負荷抵抗750Ω以下)
- ・接続方式: JIS10K(フランジ)
- ・周囲環境条件: 温度: 0~50°C、
湿度: 5~90%RH
(結露しないこと)
- ・構造: 検出器: JIS C 0920防浸形構造 (IP67)
変換器: JIS C 0920耐水形構造 (IP65)
- ・流体圧力範囲: -0.1MPa~1MPa
- ・質量: 検出器: 約26kg
変換器: 約7kg

株式会社東芝

〒212-8585 川崎市幸区堀川町72-34
スマートマニュファクチャリング事業部 計装営業部

TEL: 044-576-6755